

報告第1号

令和2年度事業報告について

令和2年度を振り返りますと、令和2年4月7日に千葉県を含む7都府県に新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が発出されました。5月25日の解除までのおよそ1か月半にわたり、不要不急の外出の自粛や飲食業等への休業要請、事業所等への出勤者数の削減要請、イベント等の停止要請など、様々な活動に対して抑制が求められることとなりました。

活動の自粛による経済への影響は大きく、令和2年4～6月期の実質国内総生産(GDP)では、昭和30年以降で最大の下げ幅(年率換算でマイナス28.1%)を記録しました。

この国内全体の経済停滞は、当センターも例外ではなく影響を受け、受託事業実績では、対前年度比マイナス5.6%の4億5,820万円で2年連続の減収となりました。

事業別では、公共では前年度比プラス0.2%と、安定した実績を収めることができましたが、民間事業所でマイナス10.9%、個人・家庭でマイナス8.2%となり、また、派遣事業では、マイナス18.4%と大幅な減収となりました。

会員数は、令和3年3月末会員数が887名となり、前年度末会員数952名から65名の減少となりました。当センターが、会員数900名を下回るのは、平成20年度(856名)以来となります。この要因としては、4月～6月半ばまでに開催を予定していた入会説明会を中止したこと、会員の高齢化が進み、加齢や健康上の理由で退会される方が増えたことが考えられます。

このように、令和2年度の当センター事業は、新型コロナウイルスの影響を大きく受ける結果となりました。

その中であって、個人・家庭の顧客向けコンビニ収納サービスの導入、配分金明細書の郵送や会員表彰規程の改正などのサービスの向上を図るなど、令和2年度事業計画に掲げた事業において実施可能な事業を遂行してまいりました。

以下、実施状況について報告いたします。

1 会員の拡大

(1) 入会促進・退会抑止

- ・ 各種会議、広報などを通じて、全国シルバー人材センター事業協会が策定した「第二次会員 100 万人達成計画」の共有化を図りました。
- ・ 定例の入会説明会の開催数を、既存の第 2、第 3 週の水曜日午前 9 時 30 分からの開催に加え、第 2 週の金曜日午後 1 時 30 分からの開催を増やし、年間 28 回開催、出張入会説明会を 5 回開催し、入会の機会拡大を実施しました。
- ・ 会員の福利厚生に係る活動について、総務部会が近隣市センターの活動状況を調査するなどの検討を進めました。
- ・ 市役所、郵便局備え置きの窓口封筒への広告掲載、郵便局本局設置の広告モニターによる宣伝、JR 津田沼駅設置の掲示板への広告掲載、ホームページ掲載の情報の充実など、集会を伴わない PR 活動を実施しました。

(2) 女性会員の確保

- ・ 入会促進のため、女性限定の出張入会説明会を 1 回、女性交流会を 5 回開催しました。女性交流会の活動は、ちいき新聞の記事や千葉県シルバー人材センター連合会のホームページに掲載されました。

(3) 会員の資質向上

- ・ マナー&コミュニケーション研修会を 4 回開催しました。

(4) 高齢会員の対策

- ・ 退会抑止につなげるべく、就業の他に、センター活動を通じての社会参加や仲間づくりといった会員の福利厚生に係る活動について、総務部会で検討を進めました。

2 就業機会の拡大

(1) 就業機会の創出

① 就業開拓の推進

- ・ 職員、就業開拓員による事業所等訪問活動を実施しました。
- ・ 派遣就業を積極的に推進し、請負就業では成立できなかった新たな分野の受注拡大に努めました。
- ・ 顧客アンケート調査を実施し、地域ニーズの把握や新たな就業機会の可能性

について調査、研究しました。

② 普及啓発活動の推進

- ・ 入会促進と同様、各種広報媒体を活用し普及啓発に努めました。

③ ワークシェアリング

- ・ 「適正・公平な就業の取扱要綱」に基づき、ワークシェアに取り組みました。

④ 就業相談

- ・ 就業のミスマッチの解消や未就業会員等からの様々な就業に関する相談窓口として、就業相談を 18 回開催し、12 名からの相談に対応しました。

(2) 受注体制の強化

① 地域ニーズ等の把握（再掲）

- ・ 顧客アンケート調査を実施し、地域ニーズの把握や新たな就業機会の可能性を調査、研究をしました。

② 受注の多様化への対応

- ・ 多様なニーズ、適正就業を推進する観点から派遣事業を積極的に活用しました。
- ・ 発注者の利便性向上等のため、コンビニ収納サービスを開始しました。

(3) 独自事業の充実

- ・ 会員の持つ豊富な知識や経験等を活用し、「墓地除草・清掃」、「書道教室」、「刃物研ぎ」の 3 事業を独自事業として実施しました。

(4) 研修・講習等の推進

- ・ 公共就業先の各担当部署等に緊急時の対応について再確認し、周知しました。
- ・ 千葉県シルバー人材センター連合会が主催する各種講習会等への受講を推進しました。

(5) 社会貢献活動の推進

- ・ 新型コロナウイルス拡大防止の観点から、地域活動等への参加、活動は自粛しました。

3 安全・適正就業の推進

(1) 安全就業の徹底

- ・ 安全管理委員会による就業先の巡回指導を 2 回実施しました。

- ・ 事務局だよりに、安全に関する記事（交通安全運動、自動車の安全運転）を随時掲載し啓発しました。

（２）健康管理の推進

- ・ 事務局だよりに、健康に関する記事（定期的な健康診断の受診の啓発、熱中症予防）を随時掲載し啓発しました。

（３）適正就業の徹底

- ・ 厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会が策定した「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を、新規入会者へ配布、ホームページに公開し、適正就業・コンプライアンスの徹底について周知、推進しました。

4 運営体制の充実

（１）理事会、委員会、部会の充実

① 理事会

- ・ 補正予算、規程・規則の改正、設立 40 周年記念事業に係る積立金の使途や計画等、センター運営に係る重要な審議を行いました。

② 専門部会

- ・ 三役会を 3 回開催し、各種会議、イベント等の開催に関する方針決定を行いました。
- ・ 三役・総務部会合同会議を 1 回開催し、事業計画、収支予算について審議しました。
- ・ 総務部会を 3 回開催し、地区対抗親睦パークゴルフ大会の開催可否、会員の福利厚生に係る親睦活動等について審議しました。
- ・ 事業部会を 1 回開催し、顧客アンケート調査の実施について審議しました。
- ・ 広報部会を 5 回開催し、機関誌「生きがい通信」の企画、校正を行いました。

③ 安全管理委員会

- ・ 委員会の開催、就業場所への巡回指導を各 2 回実施しました。
- ・ 各種会議、事務局だより等で安全意識の啓発を実施しました。

④ 設立 40 周年記念式典準備委員会（仮称）の設置

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の危険性を鑑み、令和 2 年度第 9 回理事会（令和 2 年 12 月 23 日開催）にて、実施時期の延期（令和 8 年度までに実施する）を決定し、準備委員会の立ち上げは延期しました。

(2) 地区委員、職群班の充実

- ・ 会員相互の協力関係の強化のため、地区活動、職群班活動への積極的な参画を推進しました。

(3) 財政基盤の充実

- ・ 財政基盤の充実のため、補助金の確保、受注拡大に努めました。

(4) 事務局の充実

- ・ 各種研修会に参加し研鑽に努めました。
- ・ 各市シルバー人材センター、千葉県シルバー人材センター連合会との情報交換、情報共有のため、協議会、意見交換会に参加しました。
- ・ 事務処理の改善、効率化を図りました。